

令和 7 年度医療機関再編統合等支援事業計画書【記載例】

1. 整備事業の目的及び地域医療構想との関係

(整備の目的)

〇〇市内にある〇〇病院、医療法人〇〇病院は、開設当時（昭和〇〇年開設）より急性期医療を担う医療機関として運営してきたが、施設の老朽化やスタッフの確保など、経営上の課題に直面したため、同様の課題を抱える両病院の再編統合を行うことにより、医療資源の適正化を図ることとした。

(地域医療構想との関係)

両施設が所在する〇〇医療圏域では、令和〇年度病床機能報告において、地域医療構想が掲げる必要病床数と比較して急性期病床、慢性期病床はそれぞれ〇〇床、〇〇床が過剰、高度急性期病床、回復期病床はそれぞれ〇〇床、〇〇床が不足とされていることから、急性期病床及び慢性期病床はそれぞれ高度急性期病床及び回復期病床への転換への対応が求められている。こうした状況を踏まえ、急性期病床から回復期病床へ転換を図ることで、地域医療構想の実現に資する。

また、転換前の急性期病床の病床稼働率は 70%であることから、統合を行うことにより、病床機能の再編を行うとともに、回復期病床に転換することで、医療資源の有効活用の推進にも寄与する。

新病院においては、急性期病院等から迅速に患者を受入れるためのネットワークづくりを行い、在宅復帰を目指したリハビリテーションを提供することで、医療の地域完結率の向上を図っていく。

(新興感染症への対応)

入院後に発熱などの症状が出た場合には、個室隔離ができるような建物構造となっている。また、区域をわけることで、導線を確保し、適切な感染症対策を実施していく。

2. 再編統合等関係医療機関の概要

申請者医療機関

開設者（設置者）		施設名		所在地	
医療法人〇〇〇会 理事長 〇〇 〇〇		〇〇病院		〇〇市〇〇区〇〇通〇丁目〇ー〇	
施設の規模及び構造					
(敷地面積)		12,345.67	m ²	(自己所有地、借地の別) 自己所有	
(建物構造)		鉄骨	造	4 階建	(建築面積) 1,234.56 m ²
				(延べ面積)	4,567.89 m ²
病床機能（前年度病床機能報告の最大使用病床）					
区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
最大使用病床	床	50 床	床	床	50 床

相手先となる医療機関

開設者（設置者）	施設名	所在地			
医療法人〇〇〇会 理事長 〇〇 〇〇	医療法人〇〇病院	〇〇市〇〇区〇〇通〇丁目〇ー〇			
施設の規模及び構造					
（敷地面積）	891,011.12 m ²	（自己所有地、借地の別） 自己所有地			
（建物構造） 鉄筋コンクリート 造 2 階建	（建築面積） （延べ面積）	89,101.112 m ² 1,314,151.61 m ²			
病床機能（前年度病床機能報告の最大使用病床）					
区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
最大使用病床	床	30 床	床	20 床	50 床

※関係医療機関が2つ以上ある場合は、記入欄を追加すること

3. 再編統合等整備計画

(1) 整備区分 ※該当する区分に○

	新增改築	改修	改装	医療機器
① 医療機関の統廃合	○			○
② 病床機能の集約				

※医療機器の整備については、病床機能の転換が伴う場合のみ対象

(2) 整備施設の概要（見込）

開設者（設置者）	施設名	所在地
医療法人〇〇〇会 理事長 〇〇 〇〇	〇〇病院	〇〇市〇〇区〇〇通〇丁目〇ー〇
施設の規模及び構造		
（敷地面積）	11,223.34 m ²	（自己所有地、借地の別）
（建物構造） 鉄骨 造 3 階建	（建築面積） （延べ面積）	1,122.33 m ² 4,567.89 m ²

(3) 整備計画 ※該当する箇所へのみ記入

①医療機関の統廃合

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
統合前 病床総計	床	80 床	床	20 床	100 床
統合後 病床総計	床	床	70 床	床	70 床
差引	床	△80 床	70 床	△20 床	△30 床

※統合前病床総計は、「2. 再編統合等関係医療機関の概要」の関係する医療機関の前年度の病床機能報告における最大使用病床数の合計を記入

※統合後病床総計は、新たに整備する施設の病床数を記入

②病床機能の集約

病床機能の集約に関連する医療機関の病床数の総計

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前 病床総計	床	床	床	床	床
集約後 病床総計	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床

※集約前病床総計は、「2. 再編統合等関係医療機関の概要」の関係する医療機関の前年度の病床機能報告における最大使用病床数の合計を記入

(ア) 集約する医療機関

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前	床	床	床	床	床
集約後	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床
<集約に伴い整備する病床数>				〇〇〇期	床

(イ) 集約される医療機関

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前	床	床	床	床	床
集約後	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床

(4)整備事業の内容

事業期間	事業期間	着工： 令和〇年〇月〇日 ～ 竣工： 令和〇年〇月〇日
事業費	総事業費	124,006,789 円
	当該年度事業費	12,345,678 円

4. 事業費及び補助申請(見込)額

総事業費 (対象経費)	建物及び附属 設備の整備額	医療器具等 の購入額	基準額	補助見込額
824,006,789 円 (824,006,789)	823,456,789 円 (823,456,789)	20,000,000 円 (20,000,000)	640,800,000 円	317,750,000 円

※基準額は対象病床数×整備区分ごとに定めた基準単価

※補助見込額は対象経費と基準額の低い額の1／2相当額

新增改築：@9,000 千円×70 床
 =630,000 千円
 医療機器：10,800 千円

(添付書類等)

- 1 整備前後の標榜診療科がわかる書類等
- 2 施設整備等を行う箇所及び医療機器等の設置箇所がわかる平面図等

※その他添付書類等については、協議のうえ、別途対応をお願いする場合があります。

■申請医療機関の担当者・連絡先

所属・氏名	医療法人〇〇会 総務課 〇〇 〇〇
所在地	〇〇市〇〇区〇〇通〇丁目〇ー〇
電話番号	〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
電子メール	〇〇〇〇〇〇@iryohoujin.ne.jp